

第2次飯南町総合振興計画後期基本計画・第2期飯南町総合戦略
パブリックコメントの意見と回答

【意見等】

(P18～ 政策分野1)

個人の力及び主導力が発揮できる人材づくりについて様々な取り組みをされていることは認識しています。

今後必要なのは、人(各世代、立場、ライフステージなど多様な人)のつなぎ手の育成かと思います。

つなぎ手とは、事務能力が高く柔軟な調整と情報収集等ができる方です(各地でも事例があります)。

高齢化や人口減により維持が厳しい組織や団体について、各会の再編・縮小等にも意識を向ける必要もあります。

前述の「つなぎ手」に求められる役割だと考えます。

【回答】

総合振興計画後期基本計画では、「人材育成アクションプラン」として、行政と住民による人材育成や、行政・事業者・住民などが「まちづくり」の担い手として活躍できるよう講演会などの開催に取り組む事としています。

また、まちづくり支援人材の配置や、地区担当職員制など各地区それぞれの特色に沿った支援体制についても行っていきます。

このようなことから、今回の意見は、本計画に記載せず、集落計画など各集落・地区ごとに必要な人材の育成や確保を計画内で決めていくように進めていきます。

【意見等】

(P39～ 政策分野3)

「ブランド力を高める」「情報発信・PR強化」について、細かな目標設定をするとともに言葉や内容の定義づけをする必要があるかと思います。

個人の認識では問題は提起できるが、その根本にある課題は見出されていないと考えます。

これから行われる会議等において、目標設定・個人間の共通認識・問題を提起しあつたうえで見えてくる課題、そしてその課題解決及び発展的要素を見出した取り組みが必要だと考えます。

【回答】

パブリックコメントでの本計画では、K P I (重要業績評価指標)の設定がされていませんでした。

目標設定をすることは大変重要と考えておりますので、本計画書では数値を示したK P Iを設定します。

【意見等】

(P14~17)

「今後の施策の方向」として重要項目でありますので、レイアウト等工夫が必要と思う。

【回答】

レイアウトについては、変更する予定です。

住民の皆様によりわかりやすいレイアウト、字体となるよう変更します。

【意見等】

(P34~35)

施策31 里山文化の掘り起こしと継承に関連して、観光の振興ともリンクしますが、歴史館&地区拠点施設整備の必要性を表現できないでしょうか？(又は実施計画で)

※意見提出者の所在地等、個人が特定される可能性があるため一部意見を修正しています。

【回答】

歴史・文化等を観光資源として生かすことは、「基本施策3-3 観光の振興」でも盛り込んでおりますが、歴史館や地区拠点施設整備など具体的なハード事業は検討しておりません。

しかし、本計画では、集落实態調査をもとに集落計画の策定や公民館区を単位とした小さな拠点の形成に取り組むにあたり、多世代交流・多機能型の機能を強化させるために必要な拠点の整備に取り組むことにしています。

そのため、集落や地区に必要な施設については、住民間での意見交換などにより検討した後に、どのような施設が必要かを定めてから本計画に掲げていきます。